

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

7月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



☆「イヌビワ クワ科」☆
雌雄異株の小高木。ビワではなくイチジクの仲間。黒紫色に熟した雌株の実甘い。



☆「アカメガシワ トウダイグサ科」☆
落葉高木。柔らかいトゲのある幼果実が突っている。秋に熟し、黒紫色の種子を出す。



「テイカカズラ キョウチクトウ科」
暖地の林に生えるつる性の常緑低木。花は白色から黄色に変わる。花弁の先は、ねじれプロペラ状。



☆「ネジバナ ラン科」☆
日当たりの良い芝生などに生育する多年草。花は茎の周りに螺旋状に咲く。右巻き左巻き、直線のもの様々あり。



☆「ヤブマオ イラクサ科」☆
山野でよく見られる多年草。円形の葉が特徴的。かつては茎の植物繊維から糸を紡いで布を織っていたという。



☆「クマノギク キク科」☆
海岸近くのをやや湿った所に生える多年草。熊野地方で発見された。センターでは玄関前に植栽している。



☆「アオノクマタケラン ショウガ科」☆
湿った林下に生える常緑多年草。果実は赤い球形。和歌山県の絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。



シロオニタケ
様々なキノコが生える季節になりました。毒キノコもありますので触らないようにしてください。



変形菌(粘菌) キフシスホコリ
移動しつつ摂食する動物的性質と胞子により繁殖する植物的性質を併せ持つ生物です。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

ようこそ！ 吉野熊野国立公園 宇久井ビジターセンターへ！
晴れ間には梅雨の時期ならではの動植物の観察をお楽しみください(^0^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2026年7月前半号
宇久井ビジターセンター



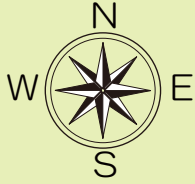
吉野熊野国立公園 宇久井半島

夏版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

上野展望台
(利用休止)

防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブツバキ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヒサカキ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

木のすき間から浜が見えます。

赤灯台

タイミンタチバナ

灯台まであと4分

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

駒ヶ崎灯台

千尋の浜 (上地の浜)

千尋の浜方面

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

外の取

ヤブツバキ

ヤマモモ

至休暇村

トベラ

アキグミ

ヤブツバキ

竹林

ヤマモモ

ヒサカキ

モチノキ

ヤマモモ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヤブツバキ

ヒサカキ

ホルトノキ

シロダモ

シロダモ

沢

竹林

周囲ルート

イヌビワ

シロダモ

トベラ

トベラ

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマメ

トベラ

松尾展望広場



地玉(じこく)の浜



凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段